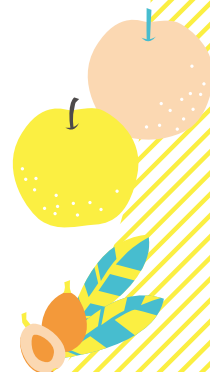
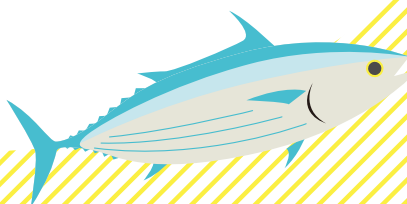
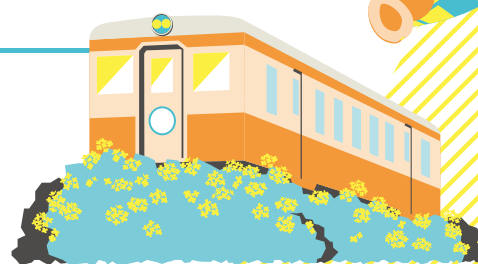
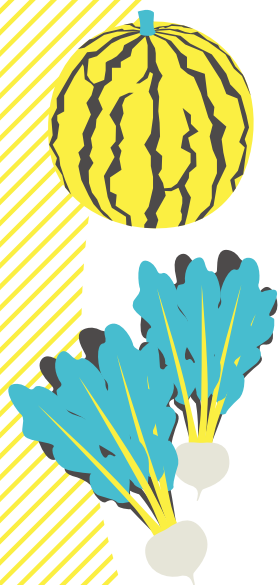




都市と世界をつなぐ  
千葉地方圏の“しごと”づくり人材育成事業

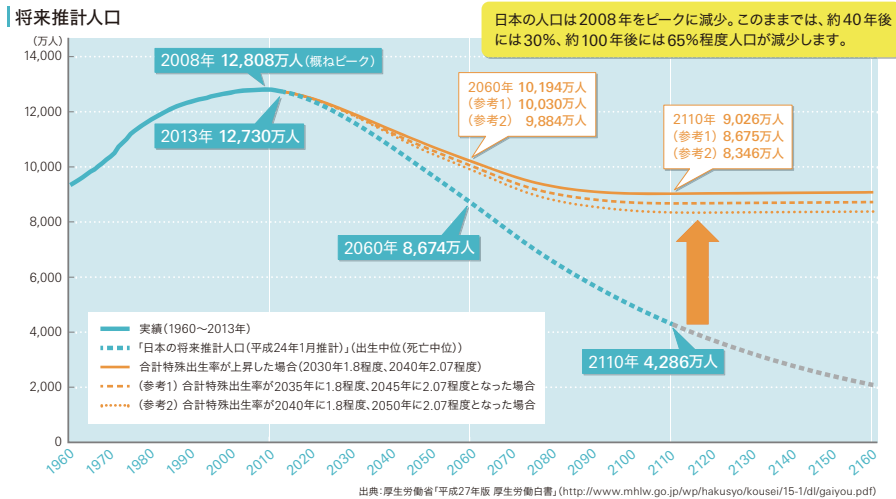
# CHIBA CHALLENGE

ローカル・イノベーションに挑む!



## 人口減少で、私たちの未来が危ない

### 知っていますか？ 地方が抱える問題



人口が減少すると… 労働力不足 後継者不足 >> **今ある仕事なくなる!**

## 可能性を秘める千葉地方圏

### 千葉地方圏の魅力を知り、これからを考える。

#### 千葉地方圏の魅力

千葉県には、大型商業施設や大企業が立地する「都市圏」と、里山や漁村などの自然豊かな環境が残る「地方圏」があります。

千葉県の農業産出額は全国4位で、様々な産物をバランスよく生産しています。「地方圏」では、水田、露地野菜、施設園芸、苗木、畜産などのほか、温暖な気候や地形を活かした多彩な品目を生産し、観光農業も盛んです。

また、成田空港、千葉港、東京湾アクアライン、圏央道などによって都市や世界と繋がっています。スポーツやレジャー産業も盛んで、2020年東京五輪ではサーフィン会場としても選ばれています。さらに、これまでの観光・リゾート地としての豊富な資源を活かしつつ、グリーン・ツーリズムやブルー・ツーリズムなど、体験型の観光が進められています。



### 地方がやるべきことは? To Do

**01 農林水産業の強化**

消費者のニーズに合った農林水産物を安定的・継続的に提供できるよう、生産力強化と生産性向上を図る必要があります。また、輸出を含めた新たな販路開拓や高付加価値化を目指した6次産業化が求められています。意欲のある人材や担い手の確保・育成も重要です。

**02 観光資源の活性化**

千葉県は三方を海に囲まれ、内陸部には自然豊かな農村や山林が広がっています。これらを活かした観光による交流人口の増加を図る必要があります。観光地までのアクセスや、観光客が快適に過ごせる環境の整備も必要です。地域資源を活用した着地型観光の需要も増える可能性があります。

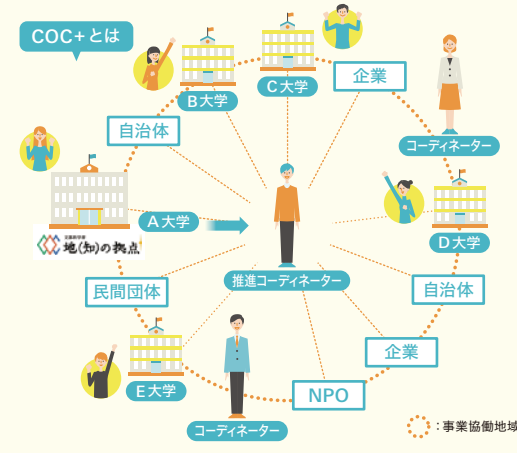
**03 新産業の創出**

都市と地方の両面を持つ千葉県には、高い技術力を持つ企業、大学、研究所、インキュベーション施設などが立地しています。産学官連携の推進やベンチャー企業支援によって地方の産業にイノベーションを興し、市場を開拓する必要があります。

**04 若者の定着促進**

若者に卒業後も地域に留まってもらえるように、地域をより深く知り、地域とのつながりを築くための取り組みが必要です。例えば、地元企業の魅力発信や、地元企業と学生の出会いの場をつくることで、地域を支える若者の地元定着を推進します。

### COC+による地域連携で、ローカル・イノベーションに挑む



地方における魅力ある就職先の創出・開拓と、その地域が求める人材育成のための教育カリキュラム改革

「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という負のスパイラルに陥る可能性が危惧される日本。地方と東京の経済格差拡大が、東京の一極集中と若者の地方からの流出を招いています。そこで、大学が地域の各種機関と協働し、学生にとって魅力ある就職先を創出・開拓するとともに、地域が求める人材を育成するための教育改革を実行します。また、COC+推進コーディネーターを配置し、事業協働地域の連携強化や取り組みの進捗を管理。事業協働機関が設定した目標達成のために、大学力(教育・研究・社会貢献)を結集させ、事業協働地域における雇用創出と事業協働地域への就職率向上によって、若年層人口の東京一極集中を解消させる狙いがあります。

地域のことをもっと知りたい! 自分に何ができるか考えてみたい! >> **WEBサイトで詳細をCHECK!** <https://www.chiba-coc.jp/>



# 千葉県COC+ Project Map

プロジェクトマップ

自治体、企業、大学、学生が一丸となって  
千葉地方圏の課題解決に取り組んでいます。

千葉県内の大学が連携し、千葉地方圏の課題解決に挑戦しています。各大学の強みを活かしながら、千葉地方圏を元気にするための様々な取り組みが進行しており、協働する自治体や企業も少しずつ増加。定期的な事業推進会議では、大学や地域の垣根を越えた情報共有・意見交換を行っています。



## プロジェクト参加学生の声 Voice



### 将来に生きる力が身につきました

敬愛大学 国際学部国際学科 2年 金坂 愛永

以前より観光事業に興味があったので成田プログラムを受講しました。成田プログラムは空港関連のことから地域や国の観光市場など様々なことが学べ、また自分のペースで受講できます。私は、元CAの教授から「ホスピタリティ」という「サービスにおけるおもてなし」について考える授業を受講しました。そこで得た知識は空港関連の業界ではもちろん、それ以外の仕事でも役に立つと思いました。

大学4年間をどう使うかは自分次第だと思うので、本プログラムで学んだ多様な価値観や考え方を、今後実践できるような活動につなげていきたいと思っています。



### 自分の専門が地域活性化の力に

千葉大学 工学部都市環境システム学科 4年 千邑 峻明

現在は、いすみ市を拠点に自分のプロジェクトを進めています。大学の授業では実際に地方で活躍している方のお話を聞く機会も多く、自分が地方に対してどのように関わられるか考えるようになりました。今後は自分のスキルを活かし、AIを活用した地域の活性化に取り組もうと思っています。



### 後輩たちへのメッセージ

地方で活躍するには、自ら学び実践の姿勢が重要だと感じています。自分なりのやり方を考え、実践してみてください！

第5回外周いすみ酒蔵開きで活動した際の写真

## 長柄町

- 長柄町版大学連携型生涯活躍のまち [千葉大学](#)
- 健康寿命延伸プログラムの策定と実践 [千葉大学](#)
- カレッジタウン生涯学習プログラム [千葉大学](#)
- リソル生命の森CCRCランドデザイン [千葉大学](#)
- 地産地消エネルギーの活用検討 [千葉大学](#)
- ITを活用した地域産業のロボット化 [千葉大学](#)

## 木更津市

- オープンデータ活用によるICT戦略の促進 [木更津工業高等専門学校](#)
- オーガニックシティプロジェクト [木更津工業高等専門学校](#)
- 市民体験プログラム  
木更津駅前ブック・カフェの展開 [木更津工業高等専門学校](#)
- 地元企業・新日鉄住金/大仙等の問題解決 [木更津工業高等専門学校](#)
- 植物工場の高度化と  
6次産業に関する研究実証 [木更津工業高等専門学校](#)
- デザインサーベイ2017 in 木更津 [千葉大学](#)

## 南房総市

- 産学協働地域活力創造事業 [千葉工業大学](#)
- 空き家公共施設活用プロジェクト [千葉工業大学](#)
- 水耕栽培による農地活用プロジェクト [千葉工業大学](#)
- 地域資源発掘(キンセンカ)プロジェクト [千葉工業大学](#)
- 地域振興プロジェクト [聖徳大学短期大学部](#)
- 地域ニーズに対する大学と  
学生シーズを活かした地域課題解決 [千葉大学](#)
- 空き家公共施設活用方策の提言 [千葉大学](#) [千葉工業大学](#)

## 館山市

- 2D/3D技術による文化財保存・活用 [千葉大学](#)
- 高校における地元愛醸成教育プログラム [千葉大学](#)

## 芝山町

- 空港南側圏の  
ソーシャルビジネスの育成 [敬愛大学](#)
- 成田空港の機能強化に対する  
産業振興の検討 [敬愛大学](#)
- 竹バイオマスの有効活用の検討 [千葉大学](#)

## 鉾田市

- 犬吠崎温泉の新価値創出事業 [千葉科学大学](#)
- スポーツタウン・  
ブランディング事業 [千葉科学大学](#)
- 地域資源を活用した  
機能性食品開発 [千葉科学大学](#)
- 安全安心な  
海水魚陸上養殖の研究 [千葉科学大学](#)
- 洋上風力発電産業の導入促進 [千葉科学大学](#)
- イノシシ・アライグマの  
生息状況の把握と被害対策 [千葉科学大学](#)
- 空き公共施設活用方策の提言 [千葉大学](#) [千葉工業大学](#)

## 横芝光町

- ニューツーリズムによる  
観光まちづくり [千葉大学](#)
- 学生と地元メディアの協働による  
地域情報の発信 [千葉大学](#)
- 地元高校での  
地元愛醸成ワークショップ [千葉大学](#)
- 地域文化の伝承 [千葉大学](#)

## 山武市

- 成田空港経済圏・オリパラ事業を活用した  
グローバル人材育成 [城西国際大学](#)
- 地域医療を支える人材育成と  
就業支援 [城西国際大学](#)

## 東金市

- 道の駅「みのりの郷東金」活用  
6次産業化プロジェクト [城西国際大学](#)
- ヘルスケアや地域環境保全活動  
によるまちづくりの推進 [城西国際大学](#)

## いすみ市

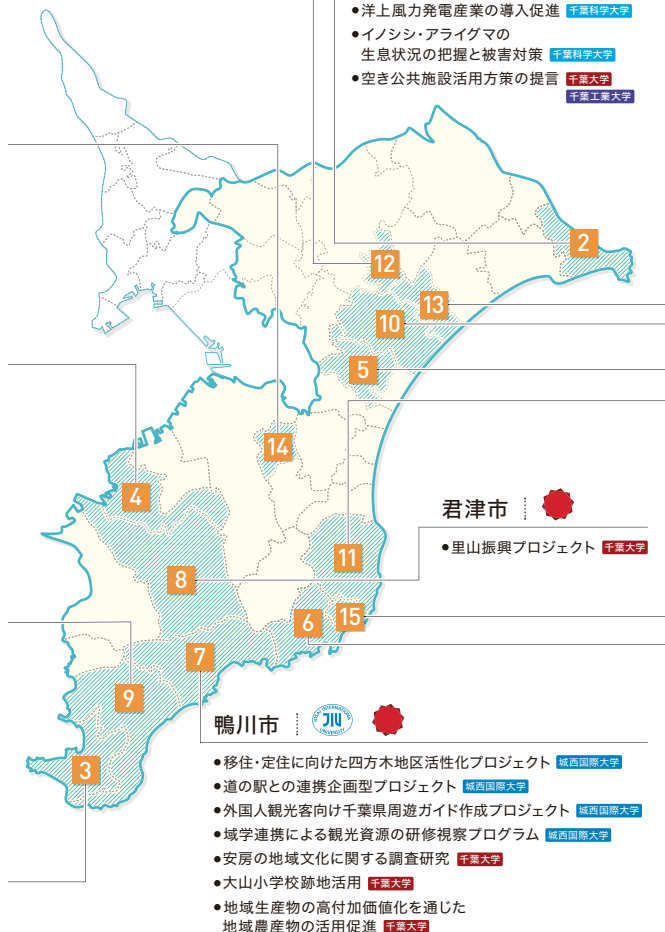
- オリンピック開催に向けた異文化交流 [千葉大学](#)
- 新規創業素材(海藻)調査 [千葉大学](#)
- 特産物国際展開可能性調査 [千葉大学](#)
- 第1次産業を活かしたツーリズム研究 [千葉大学](#)
- いすみがくプロジェクト  
(空き店舗活用学生トライアル) [千葉大学](#)

## 御宿町

- 御宿こども工務店 [千葉工業大学](#)
- ON19サミット [千葉工業大学](#)
- 公開講座(星空教室) [千葉工業大学](#)
- 御宿版CCRC [千葉工業大学](#)
- 小学生iPad活用事業 [千葉工業大学](#)
- 公開講座の実施 [千葉工業大学](#)

## 勝浦市

- 国際交流促進の検討 [千葉大学](#)
- 地域資源を活用した魅力発見の検討 [千葉大学](#)
- 空き公共施設等活用方策の提言 [千葉大学](#) [千葉工業大学](#)



## 君津市

- 里山振興プロジェクト [千葉大学](#)

## 鴨川市

- 移住・定住に向けた四方木地区活性化プロジェクト [城西国際大学](#)
- 道の駅との連携企画型プロジェクト [城西国際大学](#)
- 外国人観光客向け千葉県周遊ガイド作成プロジェクト [城西国際大学](#)
- 域学連携による観光資源の研修視察プログラム [城西国際大学](#)
- 安房の地域文化に関する調査研究 [千葉大学](#)
- 大山小学校跡地活用 [千葉大学](#)
- 地域生産物の高付加価値化を通じた  
地域農産物の活用促進 [千葉大学](#)

## 単位認定・ キャリアサポート

- 1 地方の課題に挑む  
「地域産業  
イノベーション学」  
[千葉大学](#)

大学、自治体、企業などの立場から地域の産業を振興し、イノベーションを興す人材を育成する副専攻(マイナー)プログラムです。それぞれの主専攻の専門性を活かしながら、地域産業やイノベーションに関する幅広い教養を学び、課題発見力・課題解決力・実践力・コミュニケーション力を実践的に身につけます。



- 2 空港関連企業で働く  
「エアポートNARITA  
地域産業学」  
[敬愛大学](#)

日本最大の空の玄関口である成田国際空港は、様々な職種の仕事によって成り立っています。2016年4月に開始した副専攻プログラム「エアポートNARITA 地域産業学」では、学科の学びに加えて、空港ビジネスに関連する科目を体系的に学ぶことで、空港関連企業への就職が近づきます。



## 大学による教育・研究

参加大学・協力大学による取り組みをご紹介します。

### 千葉大学



九十九里浜でニュートーリズムの調査をする学生

横芝光町、いすみ市、勝浦市、長柄町にローカルハブを設置し、総合大学の強みを活かしながら、自治体や産業とともに6次産業化、インバウンド観光、メディアル連携の各事業を展開しています。また、副専攻「地域産業イノベーション学」を開始し、地方圏でのイノベーションによる産業振興や雇用創出を担う人材の育成に取り組んでいます。

【カウンターパート: 1 2 3 4 6 7 8 9 11 12 13 14】

### 千葉工業大学



御宿町の子供たち80名と千葉工業大学生40名のコラボによるベンチ作り

御宿町では町が取り組むCCRCに対しての研究実装、研修センターを中心としてPBL授業の実施、公開講座の実施、南房総市での空き校舎をサテライトキャンパスとして昨年度からボランティア学生の派遣、参加学生へして研修や、数チームの調査研究、水耕栽培などの事業化を自治体との協力で実施しています。他に銚子市、勝浦市と地域連携により地方創生の取り組みを行っています。

【カウンターパート: 1 2 4 6 9 15】

### 放送大学



面接授業でティスカッションする学生

千葉県の人口減少問題に対して、その減少度合いを小さくするためには、自治体を取り組むだけではなく市民が共に行動を起こす必要があります。そこで面接授業「人口減少時代の千葉の地方創生」を開講し、ワークショップ形式も取り入れながら、地方の危機に対して何ができるかを学生同士で議論する場をとっています。

### 敬愛大学



成田空港での案内ボランティア

現在、複数の空港関連企業に協力を要請。周辺自治体との連携を進め、産官学が一体となり、「エアポートNARITA 地域産業学（副専攻）」を学生に推奨し、魅力ある就職先の創出と、地域が求める人材の養成を進めていきます。平成31年に向け、対象エリアでのインターンシップ参加者を1.6倍、就職率10%向上を目標に、空港発地域産業ビジネスの振興を進めていきます。

【カウンターパート: 12】

### 聖徳大学短期大学部



学生が開発し、南房総市の商業施設で販売されたパン（一部）

南房総市の食材を用いたレシピ及び商品加工品の開発、ファッションショーの開催、昔物語の絵本製作と教育機関への配布、市内の道の駅のバリアフリー化の研究、「房州うらわ」の新たな展開研究、子育てサポーター講座の開催などの取り組みを行っています。実施に際しては、南房総市、産業界、教育機関との連携を図っていく計画です。

【カウンターパート: 9】

### 城西国際大学



外国人観光客向け千葉県周遊ガイドの作成

城西国際大学は、地域教育医療福祉センターが地域の窓口となり、6次産業化、グローバル人材・ヘルスケア人材の育成、地域のグローバル化や就業支援により、東金市・山武市との協働でまちづくりを実践しています。鴨川市の安房キャンパスでは、インバウンド観光支援や観光まちづくり活動を通じて、地域の活性化に取り組んでいます。

【カウンターパート: 5 7 10】

### 千葉科学大学



機能性食品の開発の取り組み学生

銚子の様々な地域資源を活用し、そこから地方創生につながるような商品開発や研究を行い、実践的な教育や人材育成にもつなげています。例えば、命を救う食、危機管理フードの開発では、危機管理を学んだ本学学生が携わり、実践的な人材育成と商品開発を行っています。

【カウンターパート: 2】

### 木更津工業高等専門学校



KJ法を用いた問題解決法のグループ討議

専攻科共通科目「問題解決技法」をアクティブラーニング、ファシリエーションの開催、昔物語の絵本製作と教育機関への配布、市内の道の駅のバリアフリー化の研究、「房州うらわ」の新たな展開研究、子育てサポーター講座の開催などの取り組みを行っています。実施に際しては、南房総市、産業界、教育機関との連携を図っていく計画です。

【カウンターパート: 4】

### 日本大学生産工学部



木造平屋の学園の前に立つプロジェクトメンバー

佐倉市との包括協定に基づき、全学科必修科目である「生産実習」（インターンシップ）に関する連携が始まりました。また創生デザイン学科では旧佐倉市立志津小学校青音分校保存・創生プロジェクト「AOSUGE PROJECT」をスタートし、数年かけて同分校を修復・整備後、地域の核とする構想を進めています。

## 自治体による若者定着に向けた取り組み

各自治体も積極的に若者定着のための取り組みを行っています。

### 1 千葉県

#### 千葉県採用力向上サポートプロジェクト

商工団体・教育機関（高校・大学・専門学校等）などと連携して、県内中小企業の新卒採用を支援しています。企業の採用担当者や教育機関の就職担当者が交流する合同説明会を開催するほか、学生向けには、企業の魅力発表会や、企業実習（ジョブシャドウイング）、Facebook（チバQ）による企業情報の発信などを行っています。

### 4 木更津市

#### 大学や工業高等専門学校などとの連携による地域づくり

木更津工業高等専門学校と連携し、情報化人材の育成や産業振興などを目的としたオープンパークの活用を行っています。また、木更津駅周辺や市街地の空きスペースを利用した憩いの空間を確保し、市民交流活動への支援を行うことで教育機関と連携した地域づくりを行い、若者の地元定着に取り組んでいます。

### 7 鴨川市

#### 地域を支える人材の育成・確保、地元定着の促進

里山の廃校を活用したオフィス整備や地域農産物の高付加価値化、鴨川プラチナタウン（鴨川版CCRC）構想の推進などにより、地域の特色を活かした産業の振興、移住・定住を促進するとともに、地域の課題解決に向け、観光や医療・福祉をはじめとする多様な分野の人材の育成・確保に取り組んでいます。

### 10 山武市

#### グローバル教育の推進による若者定着

山武市では、地方創生戦略を「山武市（育てる力）集中創生戦略」と銘打って、幼児期から高校生までの多様な産業に関わる若い人材が集う「タウンマネジмент」講座を開催し、観光振興から新たな雇用を促進するプロジェクトを進めています。また千葉大学による「よこひかりプロジェクト」など、ローカルハブを拠点に若者の新たなネットワークが形成されています。

### 13 横芝光町

#### ローカルハブを拠点に起業促進

COC+の地域拠点であるローカルハブでは、町内の様々な産業に関わる若い人材が集う「タウンマネジмент」講座を開催し、観光振興から新たな雇用を促進するプロジェクトを進めています。また千葉大学による「よこひかりプロジェクト」など、ローカルハブを拠点に若者の新たなネットワークが形成されています。

### 2 銚子市

#### 企業・起業家支援事業

地域の情報のほか、銚子市の魅力的な仕事を紹介する企業・人材マッチングサイト「See Go To」を開発しています。企業立地の支援制度と併せて企業の人材確保、若者の就労や、空き店舗活用事業補助金で起業家を支援します。東京から約100km、地域資源が豊かな銚子市で働きませんか。詳しくは銚子市ホームページをご確認ください。

### 5 東金市

#### 住宅取得補助制度

若者の定住促進と地域経済の活性化を図るため、平成28年度より新築住宅取得補助制度を運用しています。東金市に定住する意思を持って新築住宅を取得した配偶者を有する45歳以下の若者に対し、最大50万円の補助金を交付します。

### 8 君津市

#### 地方創生広域連携事業

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、市原市・大多喜町と連携しながら、房総丘陵に広がる里山とその周辺地域の様々な資源を活用した取り組みを一体的に進めています。世界に一番近い「SATOYAMA」として観光地のブランド化を図るとともに、その受け皿となる広域観光産業づくりを展開しています。

### 11 いすみ市

#### 創業トライアル

いすみ市大原駅前商店街の一角に、学生が地域の課題解決を実践でき、多様な世代の交流や賑わいを創出できる拠点を整備します。この拠点において、学生自らのスキルを活かし、新たなビジネスを創出するとともに実践することにより自信や新たなスキルを身につけることで、地域に住み、働くことのできる若者を増やします。

### 14 長柄町

#### 長柄町版大学連携型生涯活躍のまち

町内の総合健康スポーツ施設「リソル生命の森」を核とした長柄町版大学連携型生涯活躍のまち事業を通じ、都心部の元気な高齢者の移住定住を促進するとともに、町民や移住者向けの健康寿命延伸プログラムや社会参加プログラムの開発による新たな仕事づくりと若者に魅力ある雇用の創出に取り組んでいます。

### 3 館山市

#### デジタル造形技術に基づく歴史的造形資源の保存・活用・共有による地域活性化

千葉大学との連携により、市立博物館所蔵の「万代型紙」から集積した図柄データを活用した試作品の展示・紹介や文化財（仏像・彫刻等）の3Dデータ化による取り組みを通じて、地域固有の歴史的造形資源をアーカイブとして記録・保存するとともに、当該資源を活用した商品化や地域文化の担い手創出を目指しています。

### 6 勝浦市

#### 企業立地推進事業

地方創生の基本目標である働く場の確保として、本市の豊かな自然環境や地域資源、都心からの好アクセスを活かし、サテライトオフィスを誘致しています。また、大学生による空き公共施設等活用方策の提言を実施し、遊休資産の有効活用による地域経済の活性化を図り、若い世代の雇用創出・定住に取り組んでいます。

### 9 南房総市

#### 産学協働地域活力創造事業

南房総市総合戦略の基本目標「新しい人の流れをつくる」ことを目指して、大学生などと市民との交流の機会を創出。大学・学生シーズを活かした若者チャレンジ支援、地域ニーズに対する大学・学生シーズを活かした地域課題解決の3つのプロジェクトを通して地域活力を創造し、雇用創出及び若者定着促進に取り組んでいます。

### 12 芝山町

#### 成田空港の更なる機能強化に対応した新たなまちづくり

現在芝山町内に成田空港の3本目の滑走路（C滑走路）の配置が検討されています。今回提示されたC滑走路候補地は、その大半が町内に位置しており、新たなまちづくりが求められることとなります。多の方の知見を活かしながら、若者からも支持されるまちづくりに取り組まします。

### 15 御宿町

#### 生涯活躍のまち・おんじゅく（御宿版CCRC）構想による雇用創出

「生涯活躍のまち・おんじゅく（御宿版CCRC）構想」の推進に着手しており、医療・介護の施設などを誘致することで若者の働く場の創出に取り組むながら、交流センターの設置といった地域活性化の促進や様々なアイデアによる魅力ある町づくりを今後行うことにより、若者が移住する取り組みを実施していきます。

# 都市と世界をつなぐ千葉地方圏の“しごと”づくり人材育成事業について

## 事業コンセプト

### 地域産業イノベーション人材の育成

首都圏に近く、成田空港を有する立地を活かし、都市の研究シーズを千葉に集約させ、地方に還流し、地域産業にローカル・イノベーションを興す「地域産業イノベーション人材」を育成します。

### 地方創生先進モデルの提案

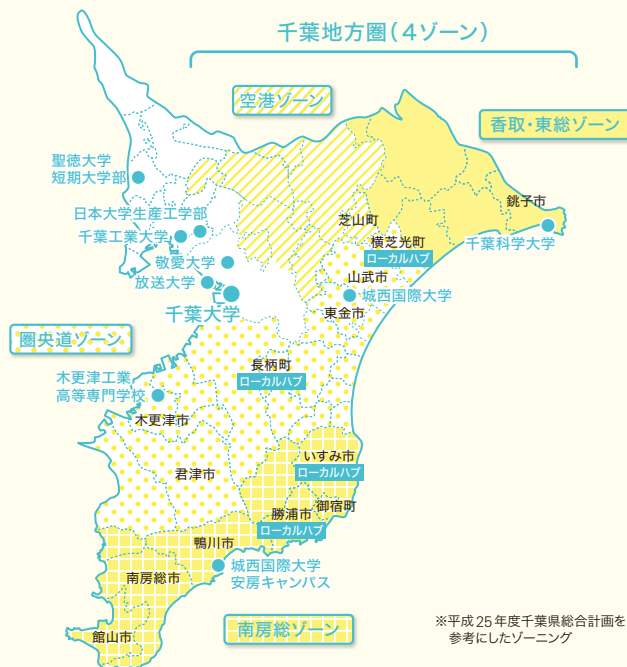
海と山に囲まれ、都市と農村が共存する千葉県は「日本の縮図」とも言え、本事業が人口減少課題に直面する日本の地域創生先進モデルとなることを目指します。

## 事業目標

### 若者の就職率の向上

事業協働地域における就職率を3% (H26年度) から13% (H31年度目標) に向上させます。そのうち1割を雇用創出等によるものとします。

## 事業協働地域



※平成25年度千葉県総合計画を参考にしたゾーニング

### 千葉県における人口動態の特徴と課題

千葉県は、東京に近接し若者人口が流入超過する「都市圏」と、若者人口が流出する「地方圏」に二分されています。千葉地方圏では、若年層の人口減少、地域産業の後継者不足、地域経済の縮小と衰退、少子高齢化といった課題があります。

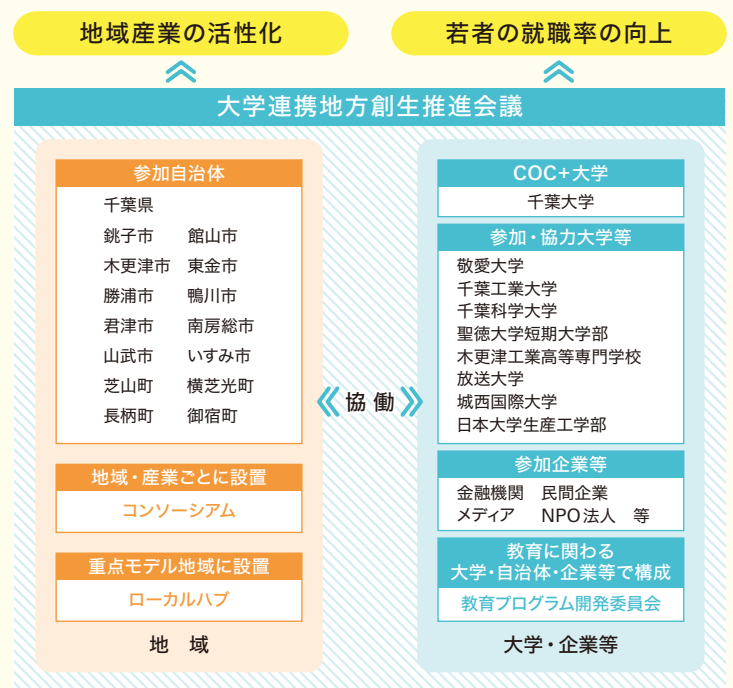
### 事業協働地域

千葉県COC+では、千葉地方圏を事業協働地域としています。地域や産業ごとにコンソーシアムを設置し、課題解決に取り組んでいます。

## 千葉県COC+ 事業概念図



## 千葉地方圏の協働体制図



**千葉大学コミュニティ・イノベーションオフィス**  
 〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33 学際研究棟1F  
 TEL: 043-251-1111 (内線4144) FAX: 043-290-2148  
 E-mail: coc-p@chiba-u.jp

詳しくはWEBサイトをご覧ください。  
<https://www.chiba-coc.jp/>

